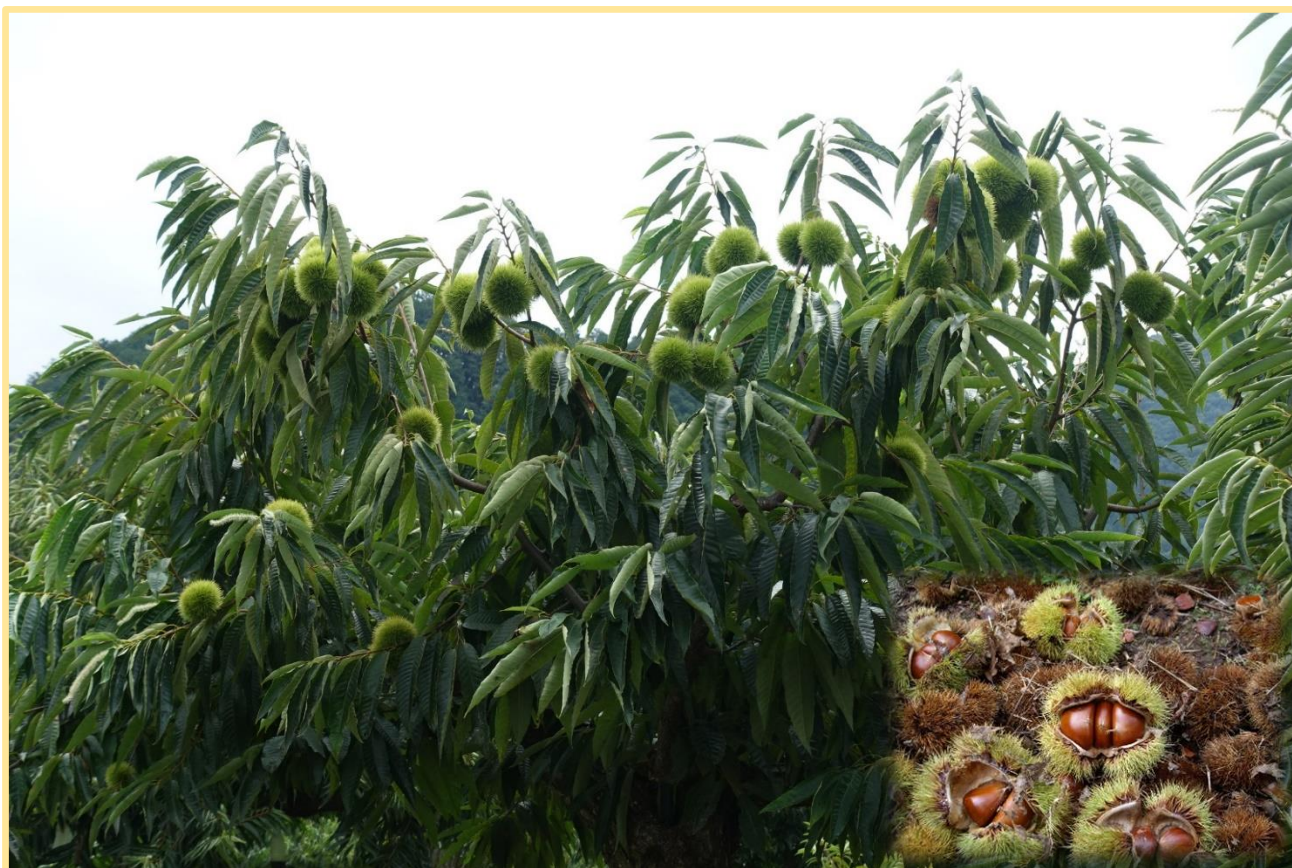




京都府及び兵庫県の丹波栗（近畿農政局撮影）

丹波栗

『丹波くり』は、栗の品種ではなく、丹波地方（京都府中部、兵庫県東辺の一部、大阪府北辺の一部）、で生産された栗の総称とされています。

上の全体の写真は、8月下旬に撮影したもので、まだ栗の「いが」は鮮やかな緑色ですが、9月中旬あたりから「いが」が割れ始め、右下の小さい写真のように、熟したピカピカの実が現れます。

そのまま蒸して食べても良いですが、栗ご飯などでも美味しくいただけます。

秋の味覚を楽しむ時期が待ち遠しいですね。

◆◆ 主な内容 ◆◆

トピックス

- ノウフク・アワード2022募集しています！

インフォメーション

- 9月の「消費者の部屋」展示内容
- BUZZMAFF「となりの近畿」素朴な疑問！近畿農政局はなぜ京都にある？
- 統計情報
作物統計調査 令和4年産一番茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）
「スマホでみる農林統計」の農業産出額、耕地面積、農作物の収穫量データなどを更新しました
- 令和3年度 日本の食料自給率

公式SNS



←農林水産省公式Facebook、Twitter及びYouTubeは、近畿農政局ホームページからもアクセスできます。

新鮮mini情報のバックナンバーは、「近畿農政局 ミニ情報」で検索できます。

ノウフク・アワード2022 募集しています！

みんなで耕そう！ 人・地域・未来の豊かな循環



主催
農福連携等応援コンソーシアム

1. 趣旨

農福連携は、障害者の皆さんに農業で活躍してもらい、自信や生きがいを持って社会に参画していただくための取組であり、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、働き手の確保や共生社会の実現に貢献する取組です。

農林水産省はこうした農福連携の取組を国民的運動として推進していくために優良な事例を表彰し、全国への発信を通じて他地域への普及に取り組んでいます。

このたび、全国各地で農福連携に取り組んでいる団体・企業や個人（以下「団体等」といいます。）の皆様から取組事例を募集し、優良事例に取り組む団体等をノウフク・アワード2022として表彰・発信します。

なお、本表彰は、農林水産省が関係団体等と連携して令和2年3月に設立した「農福連携等応援コンソーシアム」が主催して取り組むものです。

2. 表彰対象者

農業（林業及び水産業を含む。）と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等（高齢者や生活困窮者、ひきこもりの状態にある者等を含む。）が農業分野で能力を発揮することにより、農業と福祉が抱える様々な課題の解決、障害者等の社会参画、地域活性化の実現に貢献している団体等を対象とします。

3. 応募方法

以下の「ノウフク・アワード2022特設サイト」から応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、応募フォームよりファイルをアップロードして、ご応募ください。その際、自薦・他薦は問いません。

ノウフク・アワード2022特設サイト（外部サイト）

URL: <https://noufuku.jp/award/award2022>

エントリー受付中！

【応募期間】
2022年 8月3日（水）～10月3日（月）

スケジュール

応募受付開始: 令和4年8月3日（水曜日）

応募受付締切: 令和4年10月3日（月曜日）

審査結果公表: 令和5年1月頃

表彰式: 令和5年2月頃

No. 7 京都府 京田辺市

さんさん山城

・地域特産・地産地消・6次産業・地域活性化の取組を推進
・ノウフクJASと京野菜の普及啓発、地産地消に貢献

グランプリ



2021年のグランプリ表彰者はこちら
↑（近畿管内）

4. 表彰

(1) グランプリ

優秀賞に選定された団体等及び昨年度までのノウフク・アワードにおいて、優秀賞を受賞し、今回のアワードにおいても応募があったものから1団体等を選定します。

(2) 準グランプリ

優秀賞に選定された団体等から審査基準である「人を耕す」、「地域を耕す」、「未来を耕す」の視点からそれぞれ優れたものを各1団体等選定します。

(3) 優秀賞

取組主体別に「人を耕す」、「地域を耕す」及び「未来を耕す」の視点から、総合的に優れた取組を行っている団体等を複数選定します（なお、昨年度までに優秀賞に選定された団体等は、本年度の優秀賞選考の対象にはなりません。）。

(4) フレッシュ賞、チャレンジ賞

優秀賞に該当しない団体等の中から、フレッシュ賞として、新たにノウフクを開始して5年以内の団体等を複数選定するほか、チャレンジ賞として、高齢者や生活困窮者等との連携や、水福、林福、地域の伝統産業との連携など、新たなノウフクに取り組んでいる団体等を複数選定します。

**農政局からの
お知らせ**

◆9月の「消費者の部屋」展示内容

消費者の皆様へ、農林水産行政、食生活等について知っていただくために、幅広いテーマを決めて、パネルや関係資料等の展示を行っています。

近畿農政局での展示

展示期間	テーマ	担当部署
9/6(火)～ 9/22(木)	棚田に來いひん？	地域整備課
9/26(月)～ 10/5(水)	知ってる？日本の食料事情 ～全国、近畿の食と農の情報、みどりの食料システム戦略等について紹介～	企画調整室

他の会場での展示

展示期間	テーマ	展示場所
9/5(月)～ 9/16(金)	知ってる？日本の食料事情 ～全国、近畿の食と農の情報、みどりの食料システム戦略等について紹介～	東山区役所1階 展示ホール 京都市東山区 清水5-130-6
9/20(火)～ 9/26(月)	農業・農村のもつ大切な役割	サンサ右京1階 区民ロビー 京都市右京区 太秦下刑部町 12

◆ BUZZMAFF「となりの近畿」素朴な疑問！近畿農政局はなぜ京都にある？

は ず ま ふ

©2018 農政庁 農政

動画 初心！ 京都版 YouTube 誕生

YouTubeで近畿の魅力 発信中

YouTube BUZZ MAFF

近畿農政局は

なぜ京都にある？

「となりの近畿」素朴な疑問、近畿農政局はなぜ京都にある？

近畿農政局

TEL: 平62-5054
 農政庁と近畿の農政を学ぶ農政庁下農政町下農政町農政町
 電話: アラホー123456 (066)
 (お問い合せ) 075-414-9037 近畿農政局

その他にも
チャンネルいろいろ

近畿農政局では
BUZZMAFF「となりの
近畿」をYouTubeで配
信中です。

第11クール第2話では、官庁訪問で近畿農政局を目指す若者の素朴な疑問！「近畿農政局はなぜ京都にある？」をテーマにしています。

ぜひご覧ください。



詳しくはこちら(BUZZ MAFF ホームページ)
<https://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/>

統計情報



京都府和束町の茶園(近畿農政局撮影)

◆作物統計調査 令和4年産一番茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）

— 一番茶の荒茶生産量は前年産に比べ7%増加 —

調査結果

1. 摘採面積

主産県の摘採面積は2万4,400haで、前年産に比べ900ha（4％）減少しました。

2. 10 a 当たり生葉収量

主産県の10a当たり生葉収量は475kgで、前年産に比べ13%上回りました。

これは、おおむね天候に恵まれ、生育が順調に推移したためです。

3. 生葉收穫量及び荒茶生産量

主産県の生葉収穫量は11万6,000 t、荒茶生産量は2万2,600 tで、前年産に比べそれぞれ9,900 t（9%）、1,500 t（7%）増加しました。

詳しくはこちら(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y15

◆「スマホでみる農林統計」の農業産出額、耕地面積、農作物の収穫量データなどを更新しました

「スマホでみる農林統計」は、近畿の府県別、市町村別の主要農林水産統計データをスマートフォンで手軽に閲覧できます。

詳しくはこちら(近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/smap/ho/index.html>

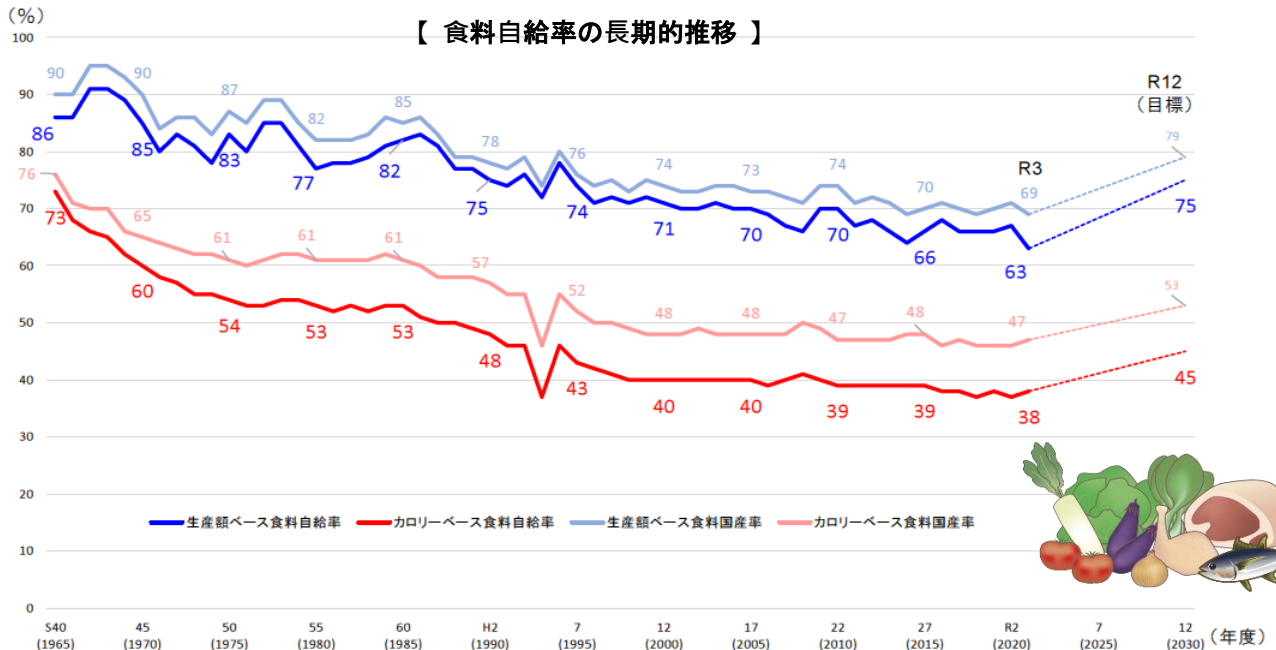


(動作には、別途Adobe Readerが必要です。)

令和3年度

日本の食料自給率

カロリーベースの食料自給率については、小麦、大豆が作付面積、単収ともに増加したこと、米における外食需要が回復したこと等により、**前年度より1ポイント高い38%**となりました。また、**生産額ベースの食料自給率**については、国際的な穀物価格や海上運賃の上昇等により、畜産物の飼料輸入額や油脂類・でん粉等の原料輸入額が増加したこと、肉類や魚介類の輸入単価が上昇したこと、米や野菜の国産単価が低下したこと等により、**前年度より4ポイント低い63%**となりました。



【食料自給率の目標】

	平成30年度(基準年度)	令和12年度(目標年度)
供給熱量ベースの総合食料自給率	37%	45%
生産額ベースの総合食料自給率	66%	75%
飼料自給率	25%	34%
供給熱量ベースの食料国産率	46%	53%
生産額ベースの食料国産率	69%	79%

【食料自給率の計算式】

$$\text{食料自給率} = \frac{\text{国内生産}}{\text{国内消費仕向}}$$

$$= \frac{\text{国内生産}}{\text{国内生産} + \text{輸入} - \text{輸出} \pm \text{在庫増減} \pm \text{イン(アウト)バウンド}}$$

※平成30年度確定値より、イン(アウト)バウンドによる食料消費増加分を補正

【お問い合わせ窓口】 近畿農政局企画調整室

TEL: 075-414-9037

FAX: 075-414-9060

詳細は、こちらをご覧ください。(近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/kikaku/jikyuritu/index.html>

農林水産省近畿農政局

企画調整室	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)451-9161	FAX(075)414-9060
滋賀県拠点	〒520-0044 大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6F	TEL(077)522-4261	FAX(077)523-1824
京都府拠点	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)414-9015	FAX(075)414-9057
大阪府拠点	〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F	TEL(06)6943-9691	FAX(06)6943-9699
兵庫県拠点	〒650-0024 神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4F	TEL(078)331-9941	FAX(078)331-5177
奈良県拠点	〒630-8113 奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎	TEL(0742)32-1870	FAX(0742)36-2985
和歌山県拠点	〒640-8143 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎	TEL(073)436-3831	FAX(073)436-0914